



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 **santec株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 6777 URL <http://www.santec.com/jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部次長 (氏名) 山下 英哲 TEL 0568-79-3535  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	949	47.9	50	—	△19	—	△21	—
28年3月期第1四半期	641	34.0	△58	—	31	—	18	△80.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △303百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 85百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.85	—
28年3月期第1四半期	1.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	8,311	7,286	87.7	619.60
28年3月期	8,881	7,755	87.3	659.43

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 7,286百万円 28年3月期 7,755百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	16.1	5	△86.8	50	△56.5	35	△91.6	2.98
通期	4,150	8.0	350	10.4	420	41.9	340	△35.2	28.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	11,961,100株	28年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	200,314株	28年3月期	200,314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	11,760,786株	28年3月期1Q	11,960,786株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで。以下、「当第1四半期」)における世界経済は、米国においては、緩やかな景気回復基調が続く一方で、中国経済の減速、英国のEU離脱問題を発端とする急激な為替変動により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、平成29年3月期の基本方針として「新分野成長基盤確立とグローバル営業強化」を掲げ、新分野におけるマーケットニーズを的確に捉えた製品の積極的市場投入を行い、確固な基盤を築くことを目指すとともに、長期成長を見据えた社員教育に重点をおき、一層の業務効率化と生産性向上を図りながら、事業活動を展開してまいりました。

前述のような市場環境を背景に、当第1四半期における売上高は、OCT関連の売上が前第1四半期より増加したこと、北米における光部品販売が引き続き好調であったことにより、949百万円(前第1四半期比47.9%増)となりました。これに伴い営業利益は、50百万円(前第1四半期営業損失58百万円)となった一方で、6月に入ってから急激な円高によって、為替差損52百万円、複合金融商品評価損34百万円を計上したことにより、経常損失19百万円(前第1四半期経常利益31百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、21百万円(前第1四半期親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 光部品関連事業

同事業における当第1四半期の売上高は404百万円と、前第1四半期の275百万円に比して46.8%増加いたしました。主として、通信設備投資が活況な北米で、通信キャリア向けが好調であったためであります。セグメント利益は64百万円と、前第1四半期のセグメント損失13百万円に比して改善し、黒字化しております。

#### ② 光測定器関連事業

同事業におきましては、米国及び日本におけるOCT製品の売上が、前第1四半期と比較して好調であったため、当第1四半期の売上高は408百万円と、前第1四半期の244百万円に比して66.8%増加いたしました。医療機器事業への先行投資によりセグメント損失は30百万円となりましたが、前第1四半期のセグメント損失58百万円に比して改善しております。

#### ③ システム・ソリューション事業

同事業における当第1四半期の売上高は135百万円と前第1四半期の120百万円と比較して、12.4%増加いたしました。インターネットを利用した画面共有ソフトウェアが新規、更新案件、ともに安定的に伸びたことが主な要因であります。セグメント利益は17百万円と前第1四半期のセグメント利益12百万円に比して増加しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末(8,881百万円)に比べて569百万円減少し、8,311百万円となりました。これは、有価証券の減少、配当金や法人税等の支払いによる現金及び預金の減少があったことによるものであります。

#### ② 負債

当第1四半期末の負債は、前連結会計年度末(1,126百万円)に比べて101百万円減少し、1,024百万円となりました。これは、未払法人税の減少などがあったことによるものであります。

#### ③ 純資産

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末(7,755百万円)に比べて468百万円減少し、7,286百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金の減少及び配当による利益剰余金の減少があったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました内容から変更はございません。なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は今後の様々な要因によって変動する場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによつて著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,948,490	1,721,828
受取手形及び売掛金	877,408	757,291
電子記録債権	3,328	12,713
有価証券	338,175	—
商品及び製品	274,918	248,477
仕掛品	72,732	108,722
原材料	242,303	250,289
その他	129,185	94,333
貸倒引当金	△240	△300
流動資産合計	3,886,301	3,193,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,512,877	1,495,686
機械装置及び運搬具(純額)	29,222	27,390
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産(純額)	1,603	1,480
建設仮勘定	610	4,037
その他(純額)	139,180	138,981
有形固定資産合計	3,276,073	3,260,153
無形固定資産	28,550	31,781
投資その他の資産		
投資有価証券	1,655,575	1,791,817
その他	34,989	34,696
投資その他の資産合計	1,690,564	1,826,513
固定資産合計	4,995,188	5,118,448
資産合計	8,881,490	8,311,803

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	331,253	305,231
未払法人税等	108,823	11,074
賞与引当金	19,925	61,472
役員賞与引当金	15,843	—
その他	213,652	207,677
流動負債合計	689,497	585,456
固定負債		
退職給付に係る負債	381,948	390,650
資産除去債務	11,891	11,959
その他	42,712	36,812
固定負債合計	436,552	439,421
負債合計	1,126,050	1,024,878
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	1,735,728	1,549,333
自己株式	△97,194	△97,194
株主資本合計	7,826,565	7,640,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△44,858	△282,293
為替換算調整勘定	△26,266	△70,951
その他の包括利益累計額合計	△71,125	△353,244
純資産合計	7,755,440	7,286,925
負債純資産合計	8,881,490	8,311,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	641,797	949,360
売上原価	351,560	505,538
売上総利益	290,236	443,822
販売費及び一般管理費	349,012	392,913
営業利益又は営業損失(△)	△58,776	50,908
営業外収益		
受取利息	17,620	18,125
受取配当金	8,354	1,028
為替差益	62,971	—
受取賃貸料	6,706	6,434
その他	3,531	1,589
営業外収益合計	99,185	27,178
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	—	52,583
複合金融商品評価損	—	34,260
賃貸不動産関係費用	3,505	3,342
休止固定資産関係費用	5,293	5,187
その他	40	1,770
営業外費用合計	8,849	97,153
経常利益又は経常損失(△)	31,559	△19,066
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,530
特別利益合計	—	3,530
特別損失		
固定資産除却損	114	38
特別損失合計	114	38
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	31,445	△15,574
法人税等	12,735	6,169
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,709	△21,743
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	18,709	△21,743

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,709	△21,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,230	△237,434
為替換算調整勘定	11,306	△44,685
その他の包括利益合計	66,536	△282,119
四半期包括利益	85,245	△303,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,245	△303,863
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	275,808	244,988	120,999	641,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	275,808	244,988	120,999	641,797
セグメント利益又は損失(△)	△13,256	△58,398	12,879	△58,776

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	404,810	408,589	135,960	949,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	404,810	408,589	135,960	949,360
セグメント利益又は損失(△)	64,034	△30,835	17,709	50,908

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。